

令和2年度 第1回西日本カーリング協議会 議事録

○日時

令和2年8月30日(日) 13時~16時半

○場所 WEB会議

○参加者

友田剛会長 松本幸彦副会長

委員:田口朱美氏 松崎裕賢氏 三原隆文氏 山口学氏 越智崇典氏 寺尾一朗氏 西岡秀和氏 福岡雅敏氏 北村雅美氏 北村友和氏 河合嘉宏氏 佐々木正一郎氏 後藤浩史氏 岡本正明氏 高松秀平氏 吉田泰秀氏

監事: 野藤薫

事務局長 :中村英明(議事録作成者)

定刻となり友田会長が開会を宣した。始まりの挨拶の後、京都協会より質問があり、先のミックスカーリング大会の西日本代表の選考についての経緯と広島チームの辞退のあと連絡が各協会に届いていなかった件についての事情説明とおわびがあった。

事務局より、熊本協会にお二人の専門委員が加わり、役員の紹介があり、自己紹介を行った愛媛協会の事務局が福岡早智氏から西岡氏に変更となったことの報告があった。

この後、以下の協議にはいった。

1 令和元年度西日本カーリング協議会収支報告

事務局より、配布資料にそって令和元年度西日本協議会の収支報告が説明された。

福岡委員より、オープンの時のレセプションの支払いの内訳について質問があったのと、山口委員より、リンク代についての質問があった。

令和元年度協議会収支決算について承認を得た。

(決算書は添付資料を参照)

2 令和元年度 活動報告(事務局より)

今年度の西日本協議会関連の大会結果報告が、事務局より以下のように行なわれた。

第37回 日本カーリング選手権大会

男子	岡山CA	予選 3勝5敗	第5位
女子	チーム広島	予選 0勝8敗	第9位

第13回 日本ミックスダブルス選手権大会

チーム北村	予選 2勝4敗	予選敗退
チーム SHIMANE	予選 1勝5敗	予選敗退
京都大学	予選 0勝6敗	予選敗退

第28回 日本ジュニアカーリング大会

男子 京都大学 予選 〇勝7敗 予選敗退

女子 チームヒロシマ 予選 〇勝7敗 予選敗退

第10回 全日本大学選手権大会

男子 京都大学出場 予選敗退

第17回 日本シニア選手権大会

コロナ禍のため中止

ワイルドカード 男子1勝 女子初戦敗退

日本ミックスカーリング大会 岡山CA 第3位

全日本小学生カーリング大会 チームおかくま(岡山熊本合同) 第5位

3 JCA 理事会・各専門委員からの報告

友田会長より、議題や大会についての話し合いも混み合っており、報告についてはアンケートをみていただくことと、重要なことだけを報告するだけにとどめることとなった。

(別紙参照)

4 第21回 西日本の各種大会について

——決定事項——

- ① 開催日 2019年12月21日(土)・22日(日)
- ② 場 所 島根県浜田市 サンビレッジ浜田
- ③ 参加チーム(最大) 男子8チーム 女子8チーム
- ④ 試合形式 予選2ブロックリーグ戦 8エンド 上位2チームによる決勝トーナメント戦
準決・決勝は10エンド(但し、女子は決勝のみ10エンド)
※3位決定戦は8エンド
- ⑤ 参加費 1チーム 50,000円(弁当代は別途500円/人 1日)
- ⑥ 出場枠 各県協会に1枠ずつ与えられ、残りの1枠は登録人数の多い協会に割り振られる。出場枠についての発表は11月1日とする。
- ⑦ チーム名 日本選手権の規定に準ずる
- ⑧ エントリー締め切り 2019年11月30日
- ⑨ レセプション なし
- ⑩ 公式練習 なし
- ⑪ ユニフォーム・ブラシ規定の適用 男女共日本選手権出場規定に準ずる。ただし、ユニフォームは1色でも可とする。
- ⑫ タイムアウト 従来どおりなし
- ⑬ 組み合わせ 当日抽選
- ⑭ 審判

各協会から1名ずつ必ず帯同審判をつける。審判を出せない協会はエントリーできない。帯同審判については、1日あたり5000円の補助をだすこととする。なお、審判資格の有無については問わないが、最低限西日本選手権相当の試合出場経験者とする。選手(リザーブを含む)が兼ねることはできない。また今回は、予選敗退のチームはその後の試合で審判を務めていただくこととなった。この際の補助はなしとする。

⑮ アイスメイカー

12月19日(木)の夜からアイスメイクをして氷をしあげるために、各協会から1名アイスメイク要員を出すことを義務付けた。アイスメイカーには協議会より1日5000円/人の補助金を出すこととした。出せない場合は事前に連絡をすることとする。アイスメイクのタイムスケジュールを事前に提出し、アイスメイク要員の時間も負担のないようにすることとなった

⑯ ペナルティ アイスメイカーを1日でも出せない場合については、木・金が2万円、土・日・月が3万円の罰金を科す

⑰ 計時 シンキングタイム制を導入する。

⑱ 日本選手権補助費の支給は撤廃した。

⑳ 2位のチームはワイルドカード大会への出場権が与えられる。辞退しても構わない。辞退した場合のペナルティもなし。

5 第13回 西日本ミックスダブルスカーリング選手権大会について

——決定事項——

- ① 開催日 2019年12月23日(月)
- ② 場 所 サンビレッジ浜田
- ③ 参加チーム数 最大 8チーム
- ④ 試合方法 ダブルノックダウン方式
- ⑤ 参加費 1チーム 30,000円(弁当代は別途)
- ⑥ 出場枠 11/1に発表
エントリー締め切り 2019年11月30日
- ⑦ レセプション なし

(協議内容)

西日本選手権とともに協議され、日程は月曜日の日程となった。

6 日本ミックスカーリング西日本代表選考会について

——決定事項——

- ① 開催日 2020年4月4日(土)5日(日)
- ② 場 所 サンビレッジ浜田
- ③ 参加チーム数は制限なし
- ④ セルフジャッジでタイマーもいれない
- ⑤ 試合方法についても参加チームによって決定する日程についてもチーム数が少なくなった場合は1日開催となる場合もある。

第2回 西日本シニアカーリング大会

—決定事項—

- ① 開催日 2019年12月21日～23日
- ② 場所 サンビレッジ浜田
- ③ 参加費 25,000円
- ④ 参加チーム 2チームないし3チームの予定
- ⑤ 試合方法 ベストオブ2か3チームの総当たり戦 8エンド制
- ⑥ 計測 シンキングタイム制を行うこととする
- ⑦ 時間については4人制、ダブルスの空き時間にはめ込んで試合をすることとなった

第2回 西日本ジュニアカーリング大会について

—決定事項—

- 2020年8月のお盆以降の軽井沢アイスパークが空いている日を取る
- 平日も考慮に入れることとする

(協議内容)

競技内容はほぼ例年どおり。

日程については、アイスメイクの出やすさで土日月の日程と年末年始の忙しさも鑑みて、21日～23日の日程となった。場所についてもサンビレッジ浜田の一択となった。

大会役員補助については、前回の大会では審判の配置が多めにしていたが、担当の方々にはかなりの負担になるというにもなるので、今回は審判の配置は少なめとし、統括は本部が担当することとなった。また、予選で敗退したチームが決勝トーナメントの審判にはいるということに決まった。ダブルスも同様とする。アイスメーカーは木曜日の夕方ごろから月曜日まで配置することとする。アイスメイクのやり方も協議し今年度は昨年度よりは省力化をはかり、全体のスケジュールを事前に発表し、時間配分と人員配置の徹底と、大会期間中も毎試合ごとのキングかけはなしにして、朝と昼の2回程度にすることとした。

帯同審判補助費については、日本選手権の参加費がなくなったことから撤廃した。補助費がなくなったことから、4人制・ダブルス・シニアの参加費を昨年よりも値下げすることとなった。審判やアイスメーカーの手当の値上げも検討されたが、昨年よりも仕事の量を減らし、負担を軽減することから理解を求めることとした。チーフアイスメーカーは松之内委員が担当する。

試合形式については、9月の競技委員会で日本選手権のエンド数が8エンドになった場合は決勝トーナメントも8エンドとする。

その他の大会について

小学生大会(チビリンピック)については、日程などの詳細がまだわからないのでまだ決めにくいですが、協議するようなことがあれば、またWEB会議を開催の予定。

高校生選手権については男子は熊本協会からの出場、女子は広島協会より出場の予定

大学選手権については、大学対抗選手権となり、単独校での出場のみとなっている

7 西日本オープン大会について

- ① 開催日 2019年11月30日(土)・12月1日(日)
開催場所 島根県浜田市 サンビレッジ浜田
- ② 参加費 30,000円 (弁当代は別途)
- ③ 試合形式 チーム数によって決定 チーム数MAXは24チーム
他チームからのレンタルはあり、3人でのエントリーも可6人まで。
- ④ エントリー 11/15(金)まで
- ⑤ レセプションを行うこととなった

西日本協議会への選手登録は10月31日まで、時間厳守のこと

8 令和元年度 西日本カーリング協議会 予算案について (別紙「予算書」参照)

経費の補助等追加事項もあったので後日正式なものを発送することで確認された。

予算案は別紙参照

9 その他

- 北村委員より、青森協会から来年度の高校選手権からは補助がでないとの連絡があったとの報告があり、補助がでなくても参加するかどうかを各協会に確認を求められた。補助がなくてもでるだろうとのこと
- 京都の松崎委員より、事務局長の手当について増額してあげたらとの意見があった。旅費、宿泊費については協議会から補助を出すということになった。
- 友田会長より、サンビレッジ浜田で大会が開催されなくなった場合にどうするかとの議論をすべきかとの提案もあるかと思うが、京都の宇治市に新しいリンクができそうなので、そちらの状況を踏まえたのちにまた議論しようとの意見があった。松本副会長より、宇治市のリンクからは冬場はカーリングでどんどん使ってほしいとの依頼があるとの報告があった。
- 北村委員より、西日本全体で強化合宿等ができないかとの提案があった。予算的に難しいのではないかとの意見が友田会長よりあった。京都のリンクができたら、そちらでの開催も考えられるかという意見もでた。
- 広島県協会より、協議会を7月に開催してほしいとの意見がでたが、各協会の意見もふまえてJCAの総会の後なるべく早く開催する予定となった。
- 愛媛県協会より、西日本ブロックでのC級審判の講習会の開催はないのかとの提案があった。リンクの貸切などの問題もあるのでJCAの主催で開催してもらえたらいいなどの意見となった。

各協会からのくわしい報告についてはアンケートを見ていただくこととし、一言ずつ協会からの発言をいただいた。

大阪の泉佐野市のリンクは専用シートではないとの報告があった。

また事務局長より、締め切りを守るようにとの注意喚起があった。

最後に友田会長より、西日本全体が一枚岩でいきましょうとの発言で閉会となった。